

薬物問題を抱える若者への支援について

近年、若年者による大麻使用の増加や、市販薬・処方薬などの乱用が課題となっています。そこで、本研修では大麻や処方薬を含めた若者の薬物問題の現状や、若年期から薬物を使用することの影響などについて理解を深めながら、薬物問題を抱える若者への支援について学ぶ研修をおこないます。

日時：令和4年11月30日（水）午後1時30分から午後4時15分まで
（受付時間：午後1時から）

場所：マイドームおおさか 8階 第1・2会議室
（大阪府中央区本町橋2-5）
※オンラインでの受講はできません。

内容：講義「若者の薬物問題の現状と支援について」

講師 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部
心理社会研究室長 嶋根 卓也 氏
（オンラインでご登壇されます）



グループワーク

話題提供「薬物問題を抱える若者への支援を通じて
感じていること」

話題提供者 大阪府こころの健康総合センター
相談支援・依存症対策課 道崎 真知子

- 対象
- ・保健所職員
 - ・精神科医療機関職員
 - ・市町村職員（障がい福祉・保健・児童福祉の担当課等）
 - ・子ども家庭センター職員
- 上記のうち、政令市（大阪市・堺市）を除く大阪府内で勤務している方が対象
- ・高等学校・支援学校高等部等の教職員、大学等教育機関の教職員

上記のうち、相談機関に所属している方は、相談対応の経験が3年以上ある職員

定員 80名（申込先着順）

参加費 無料

申込方法 裏面をご確認ください。

【問合せ先】 大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課
担当：池田・石井
電話：06-6691-2818 FAX：06-6691-2814
Eメール：kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp

申込み方法

「こころのオアシス」 <http://kokoro-osaka.jp/>
依存症対策研修 → A-2 依存症相談対応・実践研修

研修案内ページ内にある研修申込フォームから申込みください。
(※申込フォームでお申込みができない場合は担当者までお問合せください)

締切り：令和4年11月11日（金）午後5時まで

- 定員に達した場合は、締切り前に受付終了とさせていただきます。
- 締切り後、受講可能な方には受講決定通知をメールでお送りします。
- 申込み後、キャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。



会場へのアクセス ご来場は、公共交通機関をご利用ください。



Osaka Metro

中央線「堺筋本町」駅
12番出口から徒歩7分

谷町線「谷町四丁目」駅
4番出口から徒歩7分

※新型コロナウイルス感染症について、以下のとおり感染防止対策を講じますので、ご協力をおねがいします。

- ・3密を避け、会場定員の1/2以下の定員で受講者同士の間隔を空けて座席を配置します。
- ・会場入り口に手指消毒剤を設置します。
- ・各自マスクを御準備の上、受講中は必ず着用をお願いします。
- ・発熱や咳、鼻水などの呼吸器症状等がある場合は、研修参加をご遠慮ください。また、受付で体調についてお尋ねすることがあります。